



「路線価等システム」

Ver.4.00

操作マニュアル

平成23年1月

<< 目 次 >>

バージョンアップに伴う旧バージョン (Ver3.01) からの変更点	3
動作条件	4
1. 動作条件	4
システムのインストール	5
1. 新規インストール	5
2. 旧バージョンからのバージョンアップ	7
Windows Vista・7 での使用について	8
1. データインストール時の注意事項	8
2. データの保存場所に関する注意事項	9
標準宅地メモ価格表示機能	10
1. 標準宅地メモ価格画面の表示	10
2. 標準宅地メモ価格データのインポート・エクスポート	11
2. 1 データのインポート	11
2. 2 データのエクスポート	14
2. 3 データの削除	16
3. 標準宅地メモ価格データの操作	17
3. 1 地図表示	17
3. 2 地図リンク	18
3. 3 属性詳細表示	19
3. 4 地図から属性表示	20
3. 5 データの検索	21
3. 6 表示項目の設定	22
3. 7 印刷	23
範囲指定分割印刷機能	24
1. 範囲指定分割印刷	24

バージョンアップに伴う旧バージョン (Ver3.01) からの変更点

旧バージョンの「路線価等システム」(Ver.3.01) からの変更点について説明します。

■ 動作条件の変更

動作条件に次の OS を追加しました。

Windows Vista Home Premium SP1/SP2

Windows Vista Business SP1/SP2

Windows 7 Home Premium

Windows 7 Professional

動作条件から次の OS を削除しました。

Windows 98, Windows ME, Windows NT, Windows 2000

■ 標準宅地メモ価格表示機能の追加

評価替え作業に伴う標準宅地メモ価格データ (テキストファイル) を取り込み、地図上に標準宅地の位置及びメモ価格等の情報を表示する機能を追加しました。

■ 範囲指定分割印刷機能の追加

指定した範囲について、指定した用紙サイズで分割し、地図を印刷する機能を追加しました。

動作条件

1. 動作条件

「路線価等システム」(Ver.4.00)の動作条件は、次のとおりです。

項目	動作条件
OS	Windows XP Professional SP3 Windows Vista Home Premium SP1/SP2 Windows Vista Business SP1/SP2 Windows 7 Home Premium Windows 7 Professional
.NET Framework	.NET Framework 3.5 SP1
MDAC	MDAC 2.7

- ※ OS 以外に必要なコンポーネント (.NET Framework・MDAC) のインストールは、「路線価等システム」(Ver.4.00) をインストールすると同時に自動的に行われます。
- ※ 上記 OS の 64 ビット版 (x64 Edition) については、動作保証の対象外となります。
- ※ ここで動作保証している OS やコンポーネントについては、マイクロソフト社によるサポートが終了となった場合、その OS やコンポーネントは動作保証の対象外となります。

システムのインストール

「路線価等システム」(Ver.4.00) のインストール方法について説明します。

1. 新規インストール

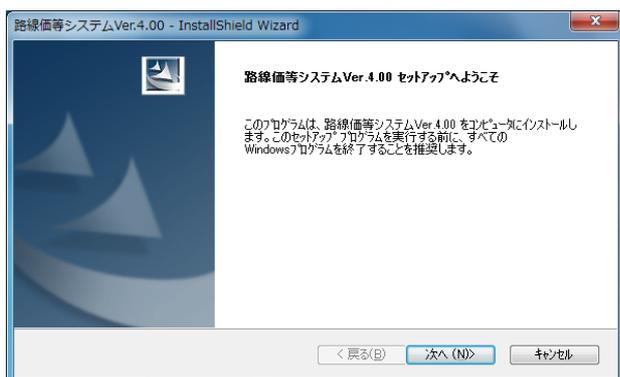
「路線価等システム」(Ver.3.01) がインストールされていないパソコンに、新規にシステムをインストールする方法について説明します。

2. 旧バージョンからのバージョンアップ

既に旧バージョンの「路線価等システム」(Ver.3.01) がインストールされているパソコンのシステムをバージョンアップする方法について説明します。

注意) システムのインストールは、Windows の管理者権限を持つユーザーで行なってください。

1. 新規インストール



- 1) 「路線価等システム」(Ver.4.00) のセットアップ「Setup.exe」を実行してください。[路線価等システム (Ver.4.00) セットアップへようこそ]画面が表示されますので、[次へ]をクリックしてください。



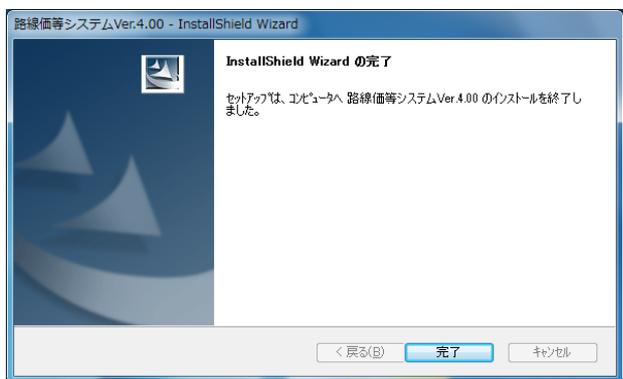
- 2) システムをインストールするフォルダを確認します。変更する場合は、[変更]をクリックしてください。インストールフォルダを設定後、[次へ]をクリックしてください。



- 3) インストールするシステムを選択します。空き容量を確認して、インストールするシステム名にチェックを入れてください。インストールするシステムを選択後、[次へ]をクリックしてください。



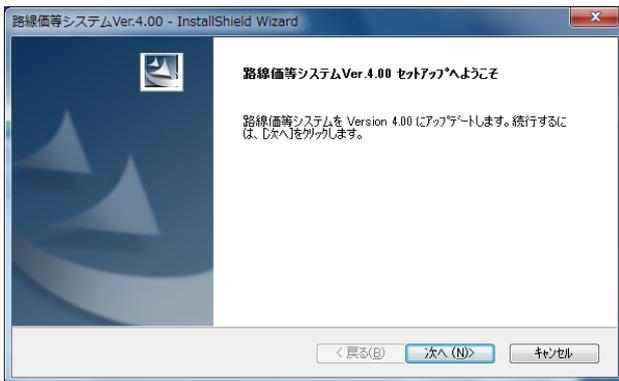
- 4) インストールの準備が完了しました。インストールを実行する場合は、[インストール]をクリックしてください。キャンセルする場合は[キャンセル]をクリックしてください。また、インストール内容を変更する場合は[戻る]をクリックして、設定をやり直してください。



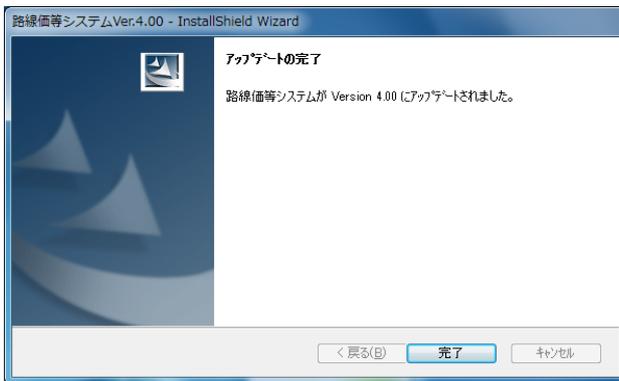
- 5) 選択したシステムのインストールが開始されず。インストール完了後に、左図の完了画面が表示されますので[完了]をクリックしてください。

以上で、システムの新規インストールは終了です。

2. 旧バージョンからのバージョンアップ



- 1) 「路線価等システム」 (Ver.4.00) のセットアップ「Setup.exe」を実行してください。[路線価等システム (Ver.4.00) セットアップへようこそ] 画面が表示されますので、[次へ]をクリックしてください。



- 2) システムのアップデートが開始されます。アップデート完了後に、左図の完了画面が表示されますので[完了]をクリックしてください。

以上で、システムのバージョンアップは終了です。

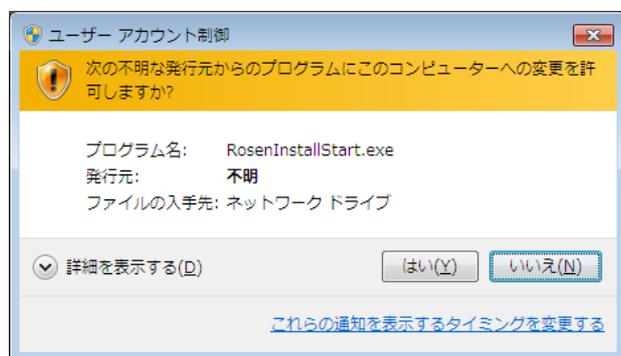
Windows Vista・7 ご利用ユーザーへ

路線価等データのインストール時の注意事項について

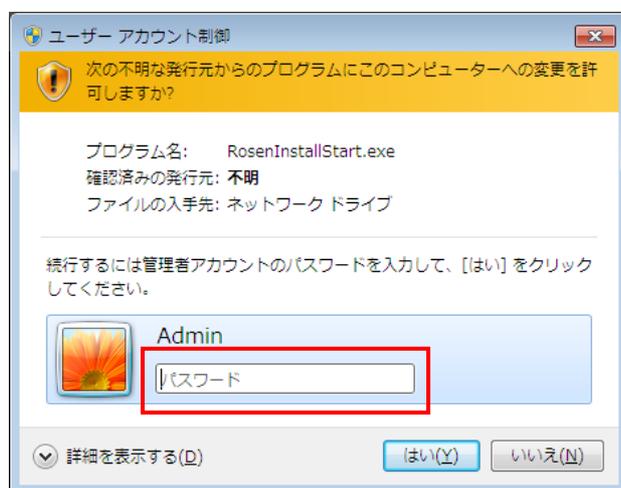
1. 路線価等データのインストール時の注意事項

Windows Vista 及び Windows 7 を使用する場合は、路線価等データのインストールを管理者権限で行なう必要があります。管理者以外で Windows にログインしている場合は、インストール時に管理者のパスワードの入力が必要です。

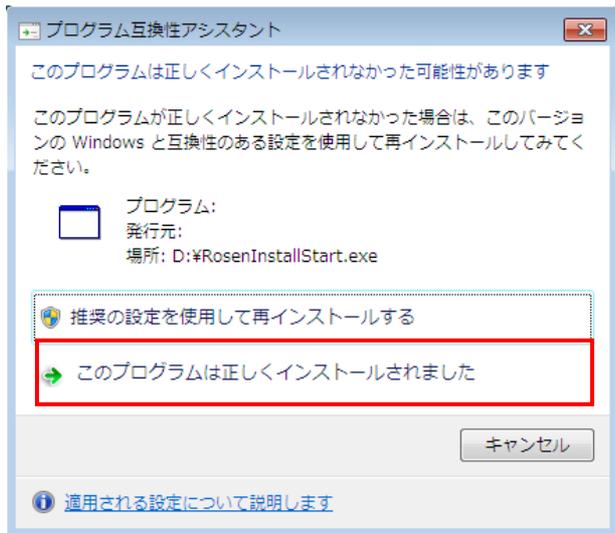
※Windows XP ユーザーはこの章の作業は不要です。



管理者で Windows にログインしている場合は、インストール時に左図の画面が表示されます。[はい]をクリックし、インストールを続行してください。



標準ユーザーで Windows にログインしている場合は、インストール時に左図の画面が表示されます。管理者のパスワードを入力後、[はい]をクリックし、インストールを続行してください。



路線価等データインストール後に、左図の画面が表示された場合は、[このプログラムは正しくインストールされました]をクリックしてください。

2. 路線価等データの保存場所に関する注意事項

Windows Vista 及び Windows 7 の仕様上、次のフォルダについては、通常一般ユーザーは書き込みが許可されていないため、路線価等データのインストールフォルダ、及びデータ入出力プログラム等のデータ出力先に指定しないようにしてください。

- ◆ プログラムフォルダ
例) C:\Program Files
- ◆ システムフォルダ
例) C:\Windows

標準宅地メモ価格表示機能

評価替え作業に伴う標準宅地メモ価格データを取り込み、地図上に標準宅地の位置及びメモ価格の情報等を表示する機能について説明します。

1. 標準宅地メモ価格画面の表示

標準宅地メモ価格を操作するための画面を表示する方法について説明します。

2. データのインポート・エクスポート

標準宅地メモ価格データをインポート・エクスポートする方法について説明します。

3. 標準宅地メモ価格データの操作

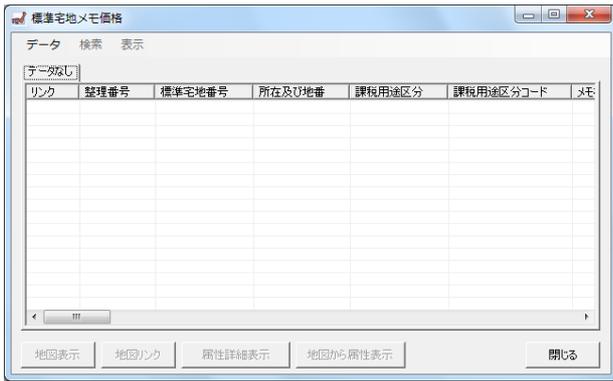
標準宅地メモ価格データを操作する方法について説明します。

1. 標準宅地メモ価格画面の表示

標準宅地メモ価格を操作するための画面を表示する方法について説明します。



- 1) [オプション]メニューの[標準宅地メモ価格表示]をクリックしてください。



- 2) 標準宅地メモ価格を操作するためのウィンドウが表示されます。
ウィンドウ右上のボタンにより、最小化・最大化の操作が可能です。最小化した場合は、Windows のタスクバーに収納されます。
ウィンドウの境界をドラッグすることで、ウィンドウサイズの変更が可能です。

2. 標準宅地メモ価格データのインポート・エクスポート

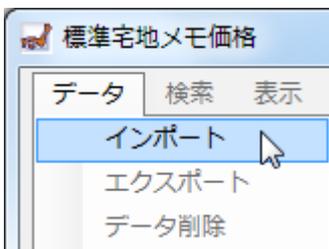
標準宅地メモ価格データをインポート・エクスポートする方法について説明します。

2. 1 データのインポート

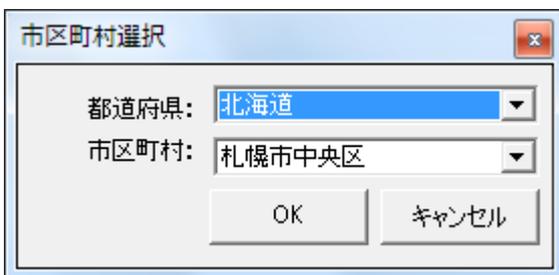
標準宅地メモ価格データをインポートし、地図上に展開する方法について説明します。

インポート可能なファイルは、カンマ区切りのテキストファイル(*.txt)です。また、ファイルの一行目はタイトル（ヘッダ）になります。

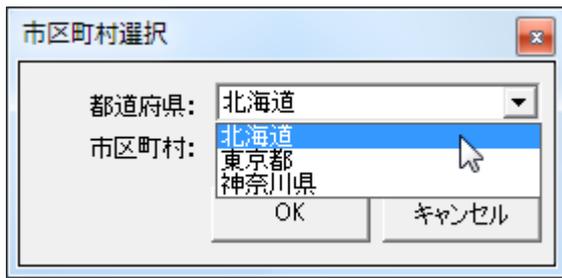
**注意）CD-ROM ドライブにあるファイルを直接インポートすることはできません。
必ず、デスクトップ等にコピーしたファイルを指定し、インポートしてください。**



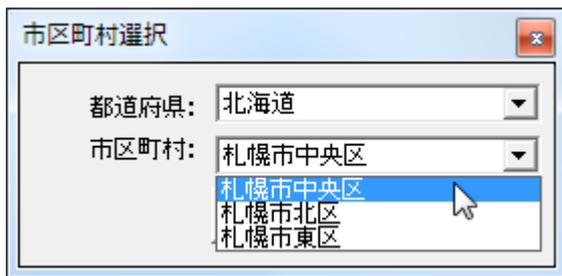
- 1) 標準宅地メモ価格ウィンドウの[データ]メニューの[インポート]をクリックしてください。



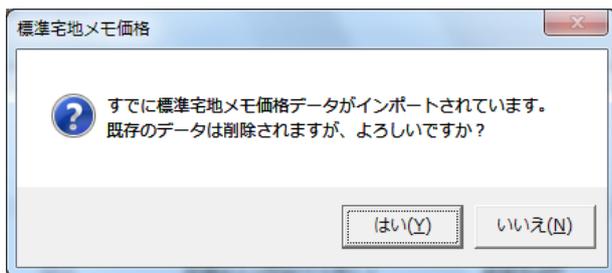
- 2) [市区町村選択] ウィンドウが表示されます。
ここでは、標準宅地メモ価格データをインポートする対象の市区町村を選択します。
インポートを中止する場合は、[キャンセル]ボタンをクリックしてください。



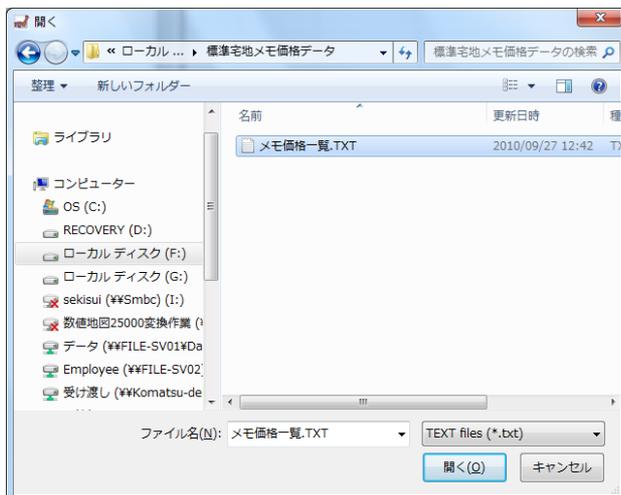
- 3) [市区町村選択] ウィンドウの[都道府県]リストから対象の都道府県を選択してください。ここでは、「路線価等システム」にインストールされている最新のデータグループの都道府県リストが表示されます。



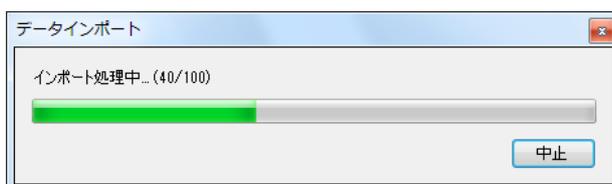
- 4) [市区町村選択] ウィンドウの[市区町村]リストから対象の市区町村を選択してください。ここでは、「路線価等システム」にインストールされている最新のデータグループの中で、手順3)で選択した都道府県内の市区町村リストが表示されます。市区町村を選択後、[OK]ボタンをクリックしてください。



- 5) 選択した市区町村のメモ価格データが既に存在する場合は、左図の確認メッセージを表示します。[はい]を選択した場合は、全てのデータを削除後、インポートが行なわれます。



- 6) ファイルを[開く]ウィンドウが表示されます。インポートするテキストファイルを選択し、[開く]ボタンをクリックしてください。



- 7) 進捗が表示され、データインポート処理が行なわれます。インポートを中止する場合は、[中止]ボタンをクリックしてください。中止した場合は、途中までのデータがインポートされた状態になります。

- 8) インポートが完了すると、リストにデータが表示されます。また、標準宅地の位置の特定ができたデータについては、地図上にプロット（赤丸）が表示されます。
- リストの列のタイトルをクリックすることで、クリックした列について昇順でソートしてデータを表示します。同じ列をもう一度クリックすると、降順でソートして表示します。

リンク	整理番号	標準宅地番号	所在及び地番	課税用途区分	課税用途区分コード
○	001	600	大通西18丁目XXX	繁華街	400
○	002	5050	北3条東2丁目XXX	普通商業地区	403
×	003	37600	南9条西6丁目XXX	併用住宅地区	406
○	004	670	大通西25丁目XXX	普通住宅地区	405
○	005	420	大通西8丁目XXX	普通住宅地区	405
○	006	3580	大通西18丁目XXX	繁華街	400
×	007	57300	北3条東2丁目XXX	普通商業地区	403
○	008	5680	南9条西6丁目XXX	併用住宅地区	406
○	009	2980	大通西25丁目XXX	普通住宅地区	405
○	010	7260	高の南3条XXX	普通住宅地区	405
○	011	770	南1条東3丁目XXX	繁華街	400
○	012	540	大通西14丁目XXX	繁華街	400
○	013	6030	北4条西5丁目XXX	繁華街	400
○	014	6180	北4条西15丁目XXX	繁華街	400
○	015	2920	南1条西3丁目XXX	繁華街	400
○	016	5880	北3条西18丁目XXX	繁華街	400
○	017	2170	南3条西5丁目XXX	繁華街	400



リンク	整理番号	標準宅地番号	所在及び地番
×	003	37600	南9条西6丁目X
×	007	57300	北3条東2丁目X
○	001	600	大通西18丁目X
○	002	5050	北3条東2丁目X
○	004	670	大通西25丁目X
○	005	420	大通西8丁目X
○	006	3580	大通西18丁目X
○	008	5680	南9条西6丁目X
○	009	2980	大通西25丁目X

- 9) 複数の市区町村のデータをインポートすると、各市区町村のデータがタブ分けして表示されます。
- タブの市区町村名称をクリックすると、該当の市区町村のデータがリストに表示されます。

■ 標準宅地メモ価格データインポート時の位置照合について

標準宅地メモ価格データインポート時に、「路線価等システム」にインストールされている最新年度のデータと照合し、標準宅地の位置が特定できたデータについては地図上にプロット図形を生成し、リンクさせます。

リンクしたデータについては、リストの「リンク」欄に「○」と表示されます。標準宅地の位置を特定できなかったデータについては、「リンク」欄に「×」と表示されます。

また、一度インポートしエクスポートを行うと、「○」となったデータには座標情報が追加されます。この座標情報を保持したテキストファイルを次回インポートすると、座標位置にプロット図形を生成し、リンクします。

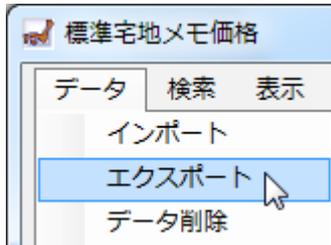
この機能は、本システムで標準宅地の位置情報を持たせたあとに標準宅地メモ価格データの各項目に修正を加えたい場合に便利な機能です。座標情報を保持したエクスポートデータに各項目修正を加えて、再度本システムにインポートし直すことができます。

- ※ 一度インポートした標準宅地メモ価格データは、[データ削除]を行なうまで保持されます。
- ※ 地図上のプロットは、[標準宅地メモ価格]ウィンドウを閉じると非表示になりますが、再度[標準宅地メモ価格]ウィンドウを表示すると、地図上のプロットも表示されます。
- ※ 過去年度のデータグループに切り替えを行っても、インポートした標準宅地メモ価格データは表示されます。
- ※ テキストファイル内の[選定区分]が[1]のレコードは[標準宅地番号]、[2]のレコードは[旧標準宅地番号]をキーにして、位置情報を照合します。[選定区分]が[1][2]以外のレコードについては、位置情報の照合は行いません。
- ※ 「路線価等システム」にインストールされている路線価等データの標準宅地データの中で、インポートするテキストデータにレコードが存在しなかったデータについては、「削除データ.txt」に該当のデータを出力します。「削除データ.txt」はインポート元ファイルと同じフォルダに出力します。

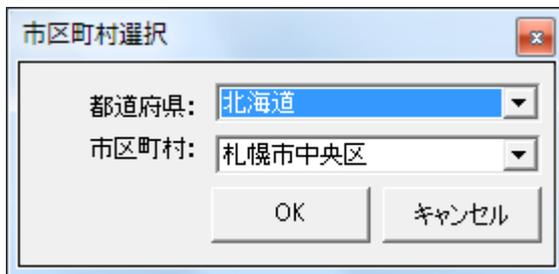
2. 2 データのエクспорт

インポート済みの標準宅地メモ価格データをテキストファイルにエクспортする方法について説明します。

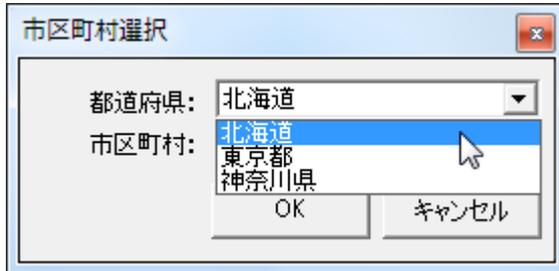
エクспортするファイルは、カンマ区切りのテキストファイル(*.txt)です。また、ファイルの一行目はタイトル（ヘッダ）になります



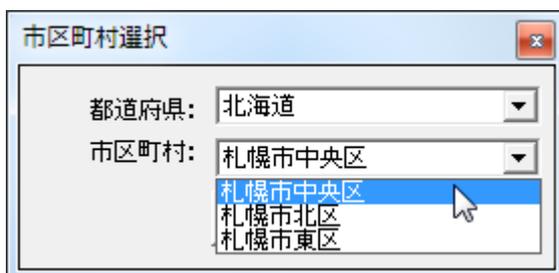
- 1) 標準宅地メモ価格ウィンドウの[データ]メニューの[エクспорт]をクリックしてください。



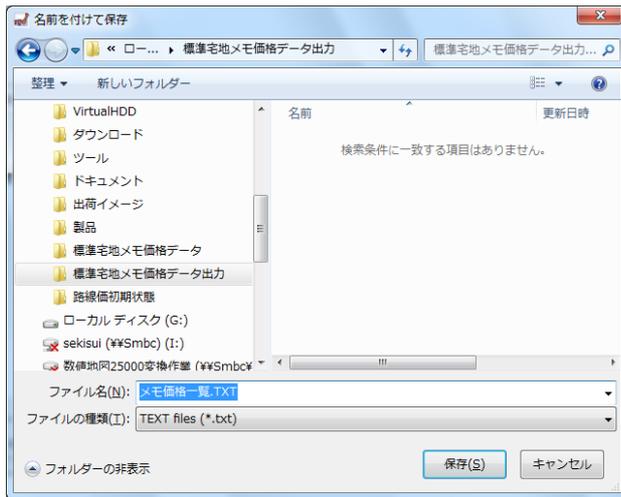
- 2) [市区町村選択] ウィンドウが表示されます。ここでは、標準宅地メモ価格データをエクспортする対象の市区町村を選択します。エクспортを中止する場合は、[キャンセル] ボタンをクリックしてください。



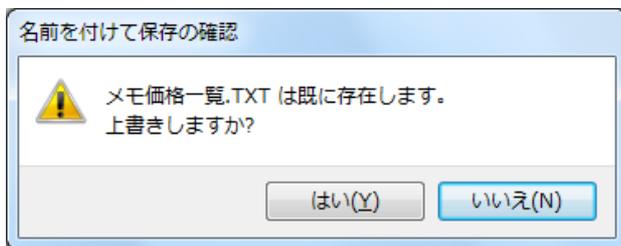
- 3) [市区町村選択] ウィンドウの[都道府県]リストから対象の都道府県を選択してください。ここには、インポート済みの標準宅地メモ価格データの都道府県リストが表示されます。



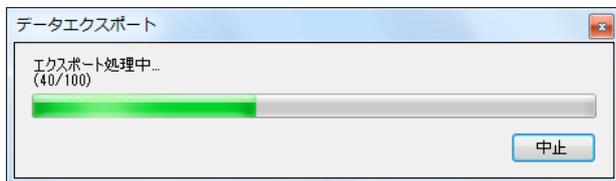
- 4) [市区町村選択] ウィンドウの[市区町村]リストから対象の市区町村を選択してください。ここには、インポート済みの標準宅地メモ価格データの中で、手順 3)で選択した都道府県内の市区町村リストが表示されます。市区町村を選択後、[OK]ボタンをクリックしてください。



- 5) [名前を付けて保存]ウィンドウが表示され
ます。
エクスポートするテキストファイルを指定し、
[保存]ボタンをクリックしてください。



- 6) 既に出力先に同名のファイルが存在する場
合は、左図の確認メッセージを表示します。
[はい]を選択した場合は、出力先のファイル
を削除後、エクスポートが行なわれます。

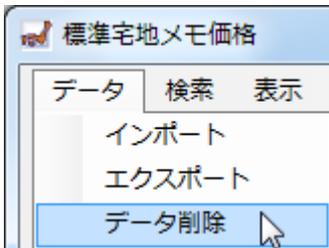


- 7) 進捗が表示され、データエクスポート処理が
行なわれます。
エクスポートを中止する場合は、[中止]ボタ
ンをクリックしてください。
中止した場合は、途中までのデータがエクス
ポートされた状態になります。

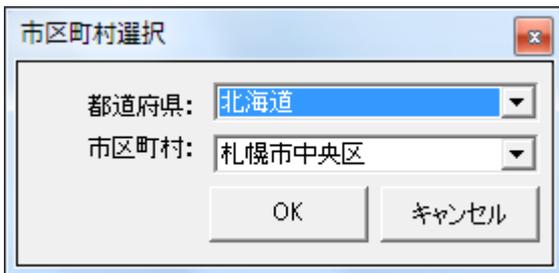
- 8) 地図とリンクしているデータについては、座標情報も出力します。出力したデータを次回インポートする際には、この座標情報を使用して地図とリンクします。

2.3 データの削除

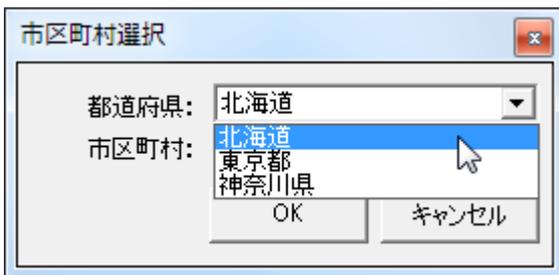
インポート済みの標準宅地メモ価格データを削除する方法について説明します。



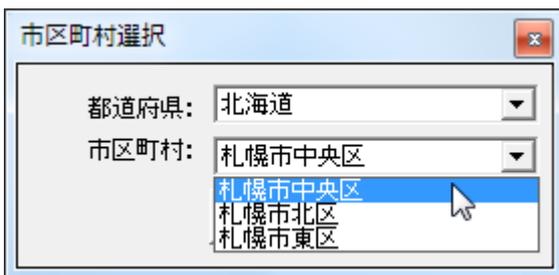
- 1) 標準宅地メモ価格ウィンドウの[データ]メニューの[データ削除]をクリックしてください。



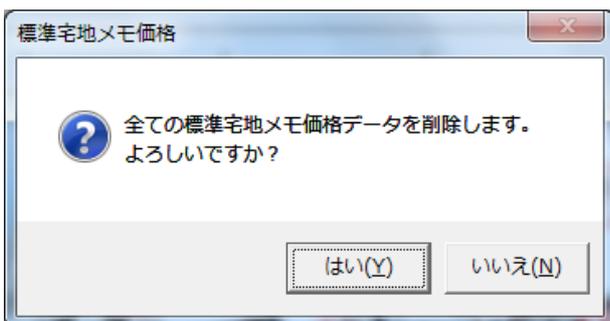
- 2) [市区町村選択] ウィンドウが表示されます。ここでは、標準宅地メモ価格データを削除する対象の市区町村を選択します。データ削除を中止する場合は、[キャンセル]ボタンをクリックしてください。



- 3) [市区町村選択] ウィンドウの[都道府県]リストから対象の都道府県を選択してください。ここには、インポート済みの標準宅地メモ価格データの都道府県リストが表示されます。



- 4) [市区町村選択] ウィンドウの[市区町村]リストから対象の市区町村を選択してください。ここには、インポート済みの標準宅地メモ価格データの中で、手順 3)で選択した都道府県内の市区町村リストが表示されます。市区町村を選択後、[OK]ボタンをクリックしてください。



- 5) 左図の確認メッセージが表示されます。[はい]を選択した場合は、選択した市区町村の全ての標準宅地メモ価格データが削除されます。

3. 標準宅地メモ価格データの操作

標準宅地メモ価格データを操作する方法について説明します。

3.1 地図表示

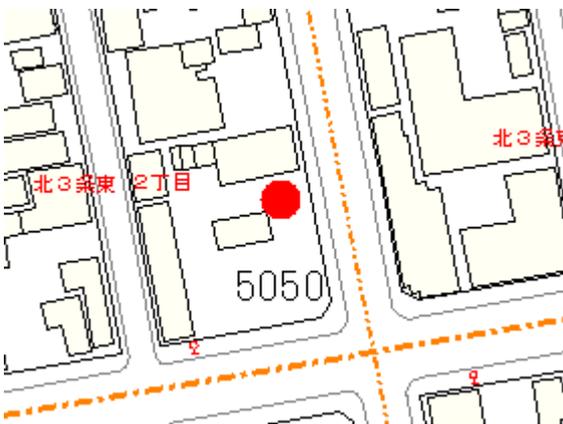
標準宅地メモ価格データについて、該当する位置の地図を表示する方法を説明します。

リンク	整理番号	標準宅地番号	所在及び地番	課
○	001	600	大通西18丁目XXX	繁
○	002	5050	北3条東2丁目XXX	普
×	003	37800	南3条西8丁目XXX	併
○	004	670	大通西25丁目XXX	普
○	005	420	大通西8丁目XXX	普
○	006	3580	大通西18丁目XXX	繁
▽	007	57300	北3条西1丁目XXX	並

- 1) リストから標準宅地メモ価格データのレコードを選択してください。
リスト上のレコードをクリックすると、レコードが反転表示され、選択状態になります。

○	014	6180
○	015	2820
○	016	5880
○	017	2170

- 2) [地図表示] ボタンをクリックしてください。



- 3) 選択したレコードの位置が地図上の中心に表示されます。

※ リストで未リンクデータ（リンク「×」）を選択している場合は、「地図表示」ボタンは無効となります

3. 2 地図リンク

標準宅地メモ価格データと地図上の地点をリンクする（関連付ける）方法について説明します。

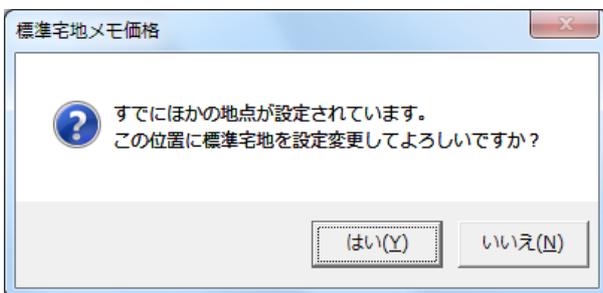
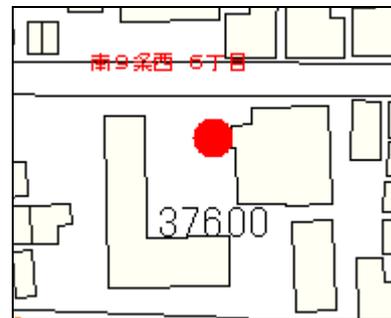
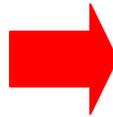
リンク	整理番号	標準宅地番号	所在及び地番	課税
<input type="radio"/>	001	600	大通西18丁目XXX	標準
<input type="radio"/>	002	5050	北3条東2丁目XXX	普通
<input checked="" type="radio"/>	003	37600	南9条西6丁目XXX	標準
<input type="radio"/>	004	670	大通西25丁目XXX	普通
<input type="radio"/>	005	420	大通西8丁目XXX	普通
<input type="radio"/>	006	3580	大通西18丁目XXX	標準
<input checked="" type="radio"/>	007	57300	北3条東2丁目XXX	普通
<input type="radio"/>	008	6000	南9条西6丁目XXX	標準

- 1) リストから標準宅地メモ価格データのレコードを選択してください。



- 2) [地図リンク] ボタンをクリックしてください。

- 3) 地図上のリンクしたい場所をクリックすると、標準宅地メモ価格データがクリックした位置にリンクされ、プロットが表示されます。



- 4) 既にリンク済みのデータを選択して地図上をクリックした場合は、左図の確認メッセージを表示します。[はい]を選択すると、クリックした位置にリンクを付け替えます。[いいえ]を選択すると、リンク処理を中止します

標準宅地メモ価格

データ 検索 表示

札幌市中央区 | 札幌市北区 | 札幌市東区

リンク	整理番号 ▲	標準宅地番号	所在及び地番	課税
○	001	600	大通西18丁目XXX	繁
○	002	5050	北3条東2丁目XXX	普
○	003	37600	南3条西6丁目XXX	併
○	004	670	大通西25丁目XXX	普
○	005	420	大通西8丁目XXX	普
○	006	3580	大通西18丁目XXX	繁
×	007	57300	北3条東2丁目XXX	普

- 5) 未リンクデータ（リンク「×」）について地図とのリンクを行なうと、リストの[リンク]欄が[○]に変わります。

3.3 属性詳細表示

標準宅地メモ価格データの属性を別ウィンドウで詳細に表示する方法について説明します。

標準宅地メモ価格

データ 検索 表示

札幌市中央区 | 札幌市北区 | 札幌市東区

リンク	整理番号 ▲	標準宅地番号	所在及び地番	課税
○	001	600	大通西18丁目XXX	繁
○	002	5050	北3条東2丁目XXX	普
×	003	37600	南3条西6丁目XXX	併
○	004	670	大通西25丁目XXX	普
○	005	420	大通西8丁目XXX	普
○	006	3580	大通西18丁目XXX	繁
▽	007	57300	北3条東2丁目XXX	普

- 1) リストからメモ価格データのレコードを選択してください。

2170 | 南3条西5丁目XXX | 繁華街

図リンク | **属性詳細表示** | 地図から属性表示

- 2) [属性詳細表示] ボタンをクリックしてください。

標準宅地メモ価格

整理番号: 1

標準宅地番号: 0001

基準・標準宅地区分: 2

所在及び地番: ○○町二丁目1-10

課税用途区分: 繁華街地区

課税用途区分コード:

メモ標準価格 A(円/㎡): 115000

前回標準価格 B(円/㎡): 148000

メモ鑑定評価価格 C(円/㎡): 115000

前回鑑定評価価格 D(円/㎡): 148000

標準価格比 A/B(%): 77.7

鑑定評価価格比 C/D(%): 77.7

街路条件

道路の幅員(m): 6

道路の舗装の状態: 有

道路の種類: 市道

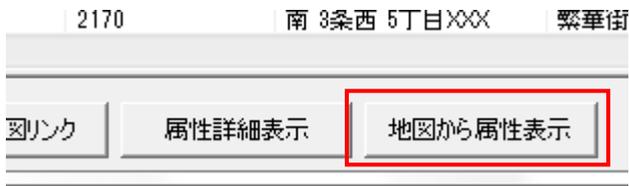
道路の系統・連続性: 普通

閉じる

- 3) 属性詳細ウィンドウが表示されます。属性詳細ウィンドウを表示した状態で、別のレコードを選択し、[属性詳細表示] ボタンをクリックすると、属性詳細ウィンドウの内容が選択したレコードの内容に変わります。

3. 4 地図から属性表示

地図上から標準宅地メモ価格データを示すプロット図形を選択し、属性を別ウィンドウで詳細に表示する方法について説明します。



1) [地図から属性表示] ボタンをクリックしてください。



2) 標準宅地メモ価格の図形が地図上で強調表示された状態になりますので、属性を表示したい図形にカーソルを合わせてクリックしてください。

クリックした図形がピンク色で表示されます。

整理番号:	1
標準宅地番号:	6180
基準・標準宅地区分:	2
所在及び地番:	〇〇町二丁目1-10
課税用途区分:	繁華街地区
課税用途区分コード:	
メモ標準価格 A(円/㎡):	115000
前回標準価格 B(円/㎡):	148000
メモ鑑定評価価格 C(円/㎡):	115000
前回鑑定評価価格 D(円/㎡):	148000
標準価格比 A/B(%):	77.7
鑑定評価価格比 C/D(%):	77.7
街路条件	
道路の幅員(m):	6
道路の舗装の状態:	有
道路の種類:	市道
道路の系統・連続性:	普通

閉じる

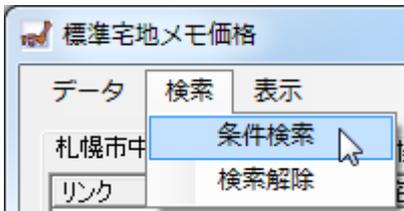
3) 属性詳細ウィンドウが表示されます。

続けて他の図形をクリックすると、ウィンドウ内をクリックした図形の属性内容に切り替わります。

4) 属性表示を終了するときは[閉じる]をクリックして属性詳細ウィンドウを閉じるか、地図上で右クリックしてください。

3.5 データの検索

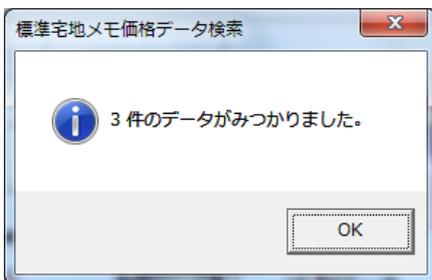
条件を指定して、標準宅地メモ価格データを検索する方法について説明します。



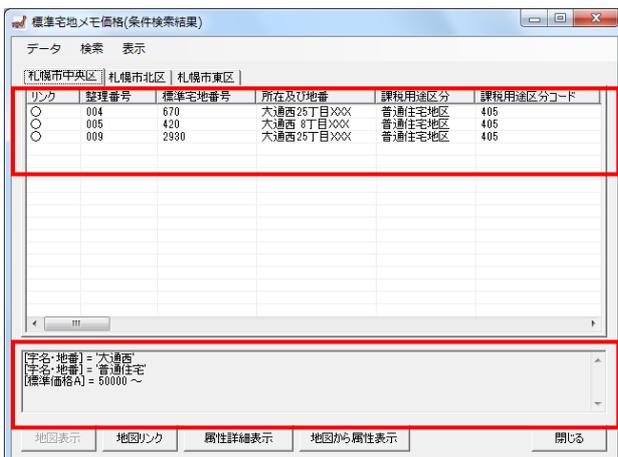
- 1) 標準宅地メモ価格ウィンドウの[検索]メニューの[条件検索]をクリックしてください。



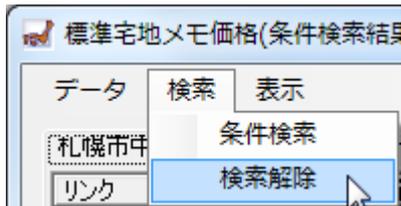
- 2) [標準宅地メモ価格データ検索]ウィンドウが表示されます。検索条件を入力して、[検索]をクリックしてください。
[クリア]をクリックすると、入力した検索条件が全て消去されます。



- 3) 条件に合致するデータ件数が表示されます。
[OK]をクリックしてください。



- 4) 条件に合致するデータのみが絞り込まれた状態でリストに表示されます。
また、リスト下部に検索条件が表示されます。



- 5) 絞り込み表示を終了するときは、検索結果標準宅地メモ価格ウィンドウの[検索]メニューの[検索解除]をクリックしてください。

■ 検索条件について

設定できる条件は、下記のとおりです。複数の条件を設定した場合は、全ての条件を満たすデータが検索されます。

整理番号：部分一致で検索します。

標準宅地番号：部分一致で検索します。

字名・地番：部分一致で検索します。

用途地区：部分一致で検索します。

標準価格 A (円 / m²)：範囲で検索します。最小値のみ、最大値のみの指定も可能です。

鑑定評価額 C (円 / m²)：範囲で検索します。最小値のみ、最大値のみの指定も可能です。

変動率 A/B (%)：範囲で検索します。最小値のみ、最大値のみの指定も可能です。

変動率 C/D (%)：範囲で検索します。最小値のみ、最大値のみの指定も可能です。

※ 一度検索を行なった場合は、次回からは前回の検索条件が自動で表示されます。

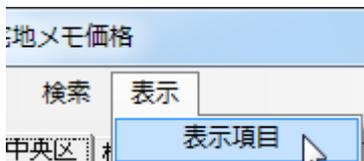
※ 絞り込み表示状態で別の市区町村のタブをクリックすると、確認メッセージを表示した上で、絞り込み表示を終了します。

3. 6 表示項目の設定

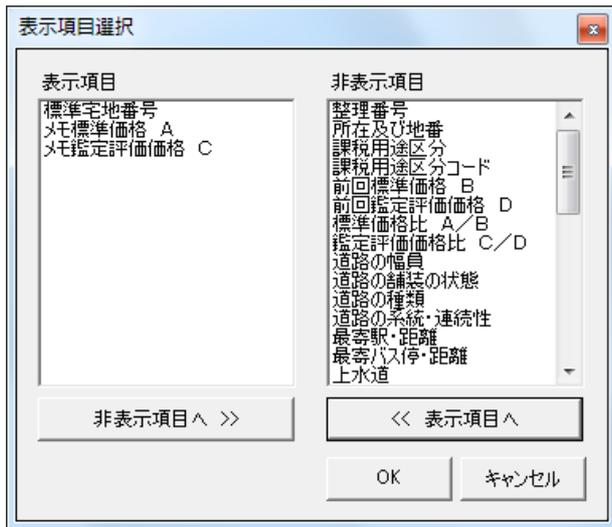
地図上に表示される標準宅地メモ価格データの表示項目を設定する方法について説明します。

本設定により、地図上の標準宅地地点付近に属性内容を表示することができます。

初回メモ価格インポート時には標準宅地番号のみが地図上に表示されます。



- 1) 標準宅地メモ価格ウィンドウの[表示]メニューの[表示項目]をクリックしてください。

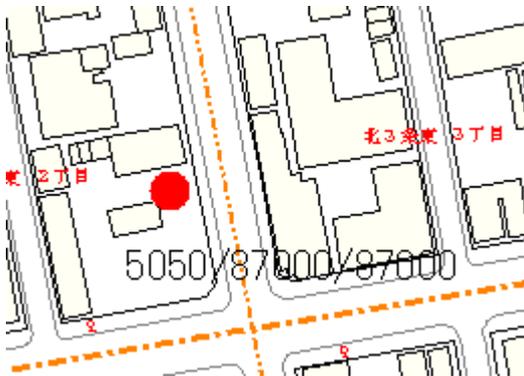


2) [表示項目選択]ウィンドウが表示されます。

右側の[非表示項目]欄で表示させたい項目を選択して[<< 表示項目へ]をクリックしてください。選択した項目が左の[表示項目]欄に移動します。

同様に、非表示にしたい項目を選択して[非表示項目へ>>]をクリックすると、[非表示項目]欄に移動します。

設定を終えたら、[OK]ボタンをクリックしてください。



3) 地図上の標準宅地メモ価格の文字に選択した項目が表示されます。

各項目は[/]で区切って表示されます。

※ 表示項目に設定できる項目の最大数は5つです。

※ 表示項目に設定している順序で、左から順に表示されます。表示順を変更する場合は、全ての項目を非表示項目に移動させてから、表示したい順に表示項目に移動してください。

3.7 印刷

地図上に表示される標準宅地メモ価格データを印刷する方法について説明します。

標準宅地メモ価格ウィンドウを表示し、地図上に標準宅地メモ価格を表示した状態で、[画面内印刷]または[管内分割印刷]で印刷を実行してください。

※ 設定する縮尺により、標準宅地メモ価格データの印刷で表示される印刷内容が異なります。

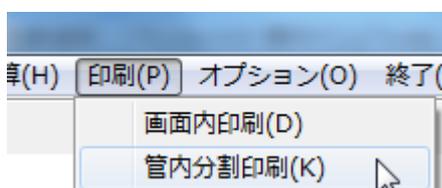
範囲指定分割印刷機能

指定した範囲について、指定した用紙サイズで分割し、地図を印刷する機能について説明します。

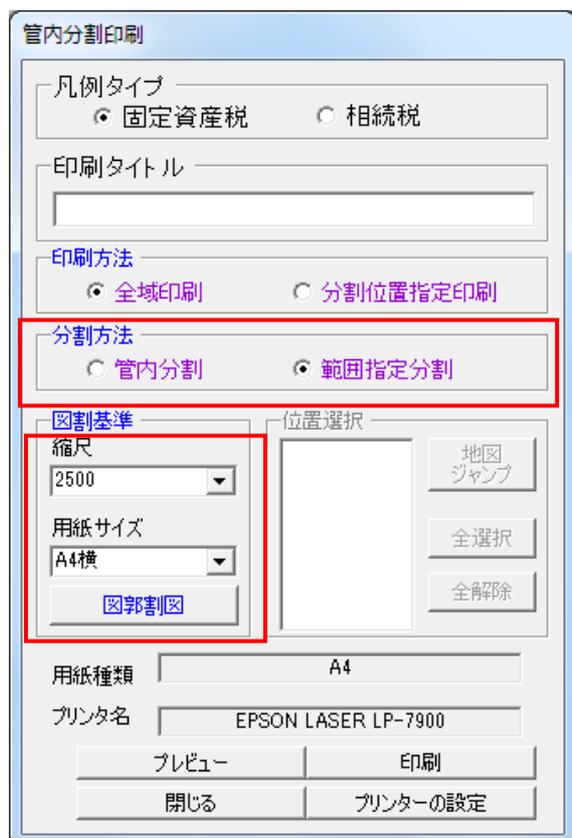
従来の[管内分割印刷]では、市区町村全体が収まる範囲を指定した用紙サイズで分割し、地図を印刷することができました。

今回、任意に範囲を指定して、指定した用紙サイズで分割し、地図を印刷する機能が追加されました。

1. 範囲指定分割印刷



- 1) [印刷]メニューの[管内分割印刷]をクリックしてください。



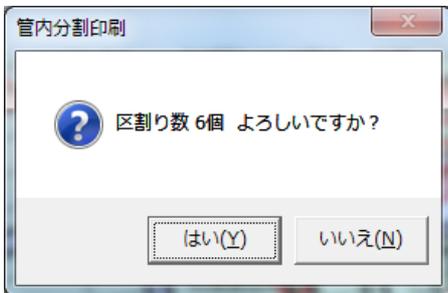
- 2) [管内分割印刷]ウィンドウが表示されます。

[分割方法]で[範囲指定分割]を選択してください。[図割基準]で縮尺と用紙サイズを選択し、[図郭割図]ボタンをクリックしてください。

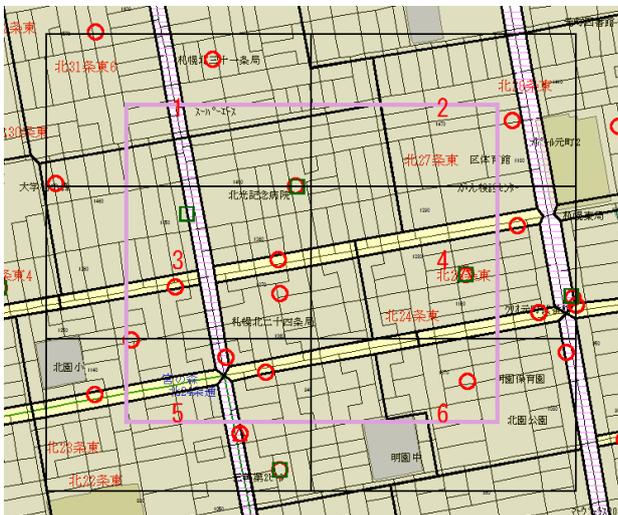
※ [分割方法]で[管内分割]を選択すると、従来どおり市区町村全体が収まる範囲での分割印刷が可能です。



- 3) 地図上で範囲を入力します。
 地図上の1点目をクリックし、マウスを移動させると、マウスの動きに合わせて地図上に矩形が表示されます。
 印刷する範囲までマウスを移動し、2点目をクリックすると、範囲が確定します。



- 4) 指定した縮尺と用紙サイズで分割した場合の区割り数が表示されます。
 指定した範囲で印刷を行なう場合は[はい]をクリックしてください。



- 5) 地図上に区割り線と位置番号が表示されます。
 従来の管内分割印刷と同様に、[全域印刷]及び[分割位置指定印刷]が可能です。